

1. 人文科学研究科 外国語科目

人文科学研究科では、研究の視野と理解をひろげるため、また、研究上のツールの養成として、複数の外国語科目を設置しています。2015年度まで「独語」「仏語」「英語」「露語」として設置してきた科目群については、2016年度より哲学専攻、英文学専攻、史学専攻の主催する専門科目として位置づけることにしました。また、新たに国際日本学インスティテュート主催の専門科目として「日本語」科目群を設置しました。自身が所属する専攻・インスティテュートが開講する外国語科目は自専攻・インスティテュート科目として、他の専攻・インスティテュートが開講する外国語科目は他専攻・インスティテュート科目として履修することができます。

(1) 人文科学研究科 外国語科目一覧

開講専攻	授業科目	担当教員名	単位	備考
哲学	哲学ドイツ語研究 1	吉田 敬介	2	
	哲学ドイツ語研究 2	吉田 敬介	2	
	哲学フランス語研究 1	酒井 健	2	
	哲学フランス語研究 2	酒井 健	2	
英文学	Academic English (Effective Writing) A	安部 義治	2	
	Academic English (Effective Writing) B	安部 義治	2	
	Academic English (Oral Presentation) A	安部 義治	2	
	Academic English (Oral Presentation) B	安部 義治	2	
史学	外書講読 I	休 講	2	外国語科目の代替科目として履修可能。
	外書講読 II	休 講	2	
国際日本学 インスティテュート	日本語論文作成実習 I	山中 玲子	2	留学生対象 (2) 履修上の注意を参照
	日本語論文作成実習 II	山中 玲子	2	
	日本語論文作成基礎 A I	幸田 佳子	1	
	日本語論文作成基礎 A II	中島 久朱	1	
	日本語論文作成基礎 A III	幸田 佳子	1	
	日本語論文作成基礎 A IV	中島 久朱	1	
	日本語論文作成基礎 B I	幸田 佳子	1	
	日本語論文作成基礎 B II	中島 久朱	1	
	日本語論文作成基礎 B III	幸田 佳子	1	
	日本語論文作成基礎 B IV	中島 久朱	1	

(2) 履修上の注意

- (1) の日本語論文科目は、春学期に入学する人文科学研究科修士課程の留学生を対象としています。
- (1) の日本語論文科目を履修する場合は、4月のオリエンテーション期間に実施されるプレースメントテストを受けてください。その成績により、どのクラスを履修するか大学院課で指定します。
- 「日本語論文作成実習」の指定を受けた場合はその I・II を、「日本語論文作成基礎 A」の指定を受けた場合はその I～IV を、「日本語論文作成基礎 B」の指定を受けた場合はその I～IV を履修してください。なお、指定されていない科目を履修することはできません。
- 秋学期入学者、研修生・委託研修生・特別研修生は、(1) の日本語論文科目を履修できません。日本語論文についての科目の履修を希望する留学生は、秋学期に開講する「日本文学・国際日本学基礎演習」や「日本文学・国際日本学論文作成基礎実習」（日本文学専攻・国際日本学インスティテュート開講科目）を履修するか、以下の『2. 研究科共通 日本語科目』を履修してください。

2. 研究科共通 日本語科目

どの研究科の留学生でも履修できる日本語科目「日本語論文作成 A I・II」「日本語論文作成 B I・II」を開講しています。詳細は、P.212 をご参照ください。

人文科学研究科の留学生も履修できますが、上述した 1. 人文科学研究科の外国語科目「日本語論文作成実習 I・II」「日本語論文作成基礎 A I～IV」「日本語論文作成基礎 B I～IV」とは異なるので、シラバスを読んで授業内容を確認してください。また、この科目の単位を修得しても修了所要単位に含めることはできませんのでご注意ください。

3. 長期履修計画の変更

入学時に長期履修制度を適用された方が、何らかの理由により履修計画を変更して修了を希望する場合は、指導教員の了解を得た上で計画を変更することができます。以下のとおりご対応ください。

(1) 修士課程

修士論文予備登録時に「長期履修計画変更申請書」をご提出ください。なお、履修計画の変更は教授会の承認事項となります。提出後、履修計画を戻すことはできませんので慎重に検討してください。

(2) 博士後期課程

博士論文審査の申請前に大学院課へご相談ください。また、長期履修の途中で退学を希望される場合も事前に大学院課までご相談ください。

4. 早期修了の申請

本学大学院に 1 年以上在学し以下の条件を満たせる方が、早期修了を希望して指導教員からも認められた場合、早期修了を申請することができます。3 月修了を希望する場合は当該年度の 6 月末日までに、9 月修了を希望する場合は前年度 12 月末日までに、所属研究科長宛の申請書類を提出してください。詳細は大学院課へお問い合わせください。

- 早期修了の希望時期までに各専攻が定める修了要件を満たせること（学位論文を含む）。
- 大学院入学から早期修了申請時までに、学術誌への論文投稿及び学会発表を行っていること。

あわせて、大学院ホームページに掲載している以下の規則をご確認ください。なお、長期履修制度適用者ならびに復学者や復籍者は、早期修了の対象にはなりません。

「法政大学大学院早期修了に関する規則」

「法政大学大学院学則（第 22 条および第 26 条）」